

歯周病検診は重要なのです!?

歯周病とは…

細菌による感染症で、生活習慣病とも言われ、タバコ・ストレス・悪習癖など歯周病を悪化させる因子は様々ですが、その直接の原因となるのは細菌で、歯周病を悪化させる細菌の種類は解明されており、それらはお口の中の常在菌の中に存在します。

近年、歯周病と全身疾患の密接な関係が明らかにされてきました。歯周病の原因菌は、お口から体内に侵入することで、様々な疾患を引き起こします。

細菌はお口を通して体内に侵入することがほとんどなので、お口の中をきれいにし、歯周病を治療・予防することは、全身疾患の予防にも繋がります。

義歯に付着する汚れの正体も、歯周病の細菌とほぼ同じもので、義歯をきれいに保つことも全身の健康のためには大切であると言えます。

歯周病と関連のある全身疾患

- ・糖尿病
- ・心臓疾患・動脈硬化
- ・誤嚥性肺炎
- ・低体重児出産・早産
- ・骨粗しょう症、腎炎、関節炎 etc



糖尿病

- 糖尿病と歯周病の関係は特に密接で、糖尿病を治療することで歯周病も改善されますが、逆に歯周病を治療することで糖尿病も改善されると言われています。

心臓疾患・動脈硬化

- 歯周病の原因となる細菌の毒素が、血流に乗って血管内で、動脈硬化を引き起こす原因になると言われており、また、それにより心臓疾患も引き起こすと言われています。

誤嚥性肺炎

- ごえんにより、歯周病の細菌が肺に入り、ごえんせい誤嚥性肺炎を引き起こすと言われています。

※誤嚥とは 食物や唾液は、口から食道を経て胃へ送り込まれます。食物などが何らかの理由で誤って気管に入ってしまう状態を誤嚥（ごえん）と呼びます。

低体重児出産

- 歯周病になると体内に産生される物質が、血流を渡って胎盤に流入し、低体重児の原因になるとも言われています。

お口の健康、
そして全身の健康
のため、歯周病を
予防しましょう!



歯周病を予防する
にあたり、まずは、
歯周病検診を
受診しましょう!

歯周病検診の対象者は、平成25年度中に20歳・25歳・30歳・35歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳に到達される組合員で、所属所を通じて既に歯周病検診受診券を配布しています。